



久米島町立大岳小学校

大岳だより

令和5年2月3日 第12号 発行者 新垣 忍

大岳小学校学校目標

- ◎自ら考え、進んで学習にはげむ子
- ◎豊かな心で思いやりのある子
- ◎最後までやりぬく子
- ◎健康で明るい子

【祝】 創立140周年記念式典

創立140周年記念式典が1月29日（日）本校体育館で行われました。感染対策の為、案内は控えめにしたなかではありましたが保護者、準会員の皆様、地域の皆さんの多くの参加があり盛況に終えることができました。

寄附金につきましては、島内外から多くの協力をいただきました。なかには父親がお世話になったからとわざわざそのご子息が本島より学校を訪れ寄附してくれる方もいました。このようなみなさんの本校に対する思いは、記念事業の主な目的である軽トラックの購入に加え、更に乗用草刈り機まで購入できるまでの寄附金を集めることができました。本当にありがとうございました。職員一同心より感謝申し上げます。

今後は、校内美化作業等に活用し自然豊かな大岳らしい環境の整備に役立てたいと思います。

保護者、地域の皆さんの変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



幕開けは三線クラブの演奏から！この日の為に一生懸命練習してきました。



左から、中島実行委員長、校長、桃原町長、宇江城教育長です。祝辞をいただきました町長、教育長本当にありがとうございました。

功労者への感謝状贈呈です。個人団体含め、20名の方が表彰されました。受賞者を代表して第43代校長大川実様よりあいさつをいただきました。ありがとうございました。



児童代表あいさつ 6年仲地心美さん
緊張しながらも堂々としたあいさつでした。式典のあいさつの中で唯一、ノ一原稿で話してくれました。心美さんすばらしい！！



第二部では、全校児童の合唱を披露しました。この日の為に練習してきたキロロの「未来へ」を心を込めて歌いました。「未来へ向かって ゆっくりと歩いて行こう」という最後の歌詞は140年の歴史を重ねてきた大岳小学校が更にこれからも歩み続けていこうという決意にも聞こえ感動してしまいました。（^_^）



最後は6年生による勇壮なエイサーです。（上）体育館じゅうに響き渡る太鼓の音は迫力十分でした。そして参加者全員のカチャーシーです。（下）シラフで踊るのは初めてかもしれない（^_^）やっぱり沖縄の最後はこれですよね！！

カチャーシー！ カチャーシー！ カチャーシー！



裏面へ続く↓

【黒糖づくり】

1月26日は、大城さん、山城さんを中心に黒糖作りを行いました。生でかじるサトウキビ、絞りたての汁の試飲など、貴重な体験ができました。式典で、美味しい黒糖を参加者へ配布しました。ご協力に感謝です。



あま〜い！



ひたすら 搾るべし！

みなさんへ
おみやげ

タイムカプセル開封！！

【タイムカプセル集会】

タイムカプセルを開封するのに合わせて式典の前に児童集会を持ち卒業生の糸数さん、国吉さん、仲村さんからその時の学校の様子と思いを語ってもらいました。飼育小屋にはクジャクがいたそうです。驚！！



掘り出された作品に興味津々です。
「ポケモン、アンパンマンもその時
(20年前)からいたんだ！」の声も！
(^_^)



クジャクもいたし、裏山で給食を食べた
こともありましたよ。

【タイムカプセル開封式】

午後1時よりタイムカプセル開封式が当時の卒業生と先生方が参加して行われました。懐かしい先生方の中には、感極まって涙を流す方もいて感動しながらも和気あいあいとは進行していきました。後半は各学年毎に分かれて思い出話に花を咲かせたと思います。実行委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。準備期間が短い中で60名あまりの参加者がいたことには、本当に驚きです。島外からの参加者も多数いたそうで母校に寄せる思いの強さに感心しました。これからも大岳小学校に力を貸してくれる心強いサポーターとして何かあるときはお願いしたいと思います。



ひとりごと

140周年事業で感じたこと⇒横断幕を見て寄附金をわざわざ届けてくれる人。島外から寄附の方法を問い合わせしてくれる人。卒業生でもないのに親がお世話になったからと寄附してくれた人など、母校そして後輩の為に何かしてあげたいという思いがある方が多くいることを強く感じました。

タイムカプセルで感じたこと⇒140周年役員の認識不足(タイムカプセルは埋まってないと思ってました。申し訳ない)で取組が遅れたなか、昨年の11月頃、当時の幼稚園生から6年生まで有志が集まり実行委員会を結成しました。そしてたった3ヶ月弱の呼びかけで当時の半数以上にあたる60人の卒業生がタイムカプセル開封式に集まってくれました。同級生だけでなく異学年の卒業生が協力し合うことに縦のつながり(絆)の強さを感じました。

縦の絆について感じたこと⇒縦の絆について今の子供たちにも通ずることがあります。4月の遠足の時、歩き疲れた1年生をおんぶしてあげる6年生、トラブルで泣いている下級生に「どうしたの?」と声をかけてくれる高学年、低学年同士のけんかの仲裁に当然のように入る高学年。それらを見て学ぶ後輩達。その結果、卒業式の前日に行かないでと泣きながらお願いした1年生もいました。結局社会にでると縦社会です。小学校の段階からその絆を無意識に学ぶ大岳の子供たちの環境、うらやましいかぎりです。

新職員紹介！

1月より新しく特別支援員として赴任してきた中村香奈子先生です。よろしくお願いします



初めまして支援員の中村香奈子と申します。字仲泊出身で中学生まで久米島で過ごしていました。みなさんのサポートをしっかりとできるよう頑張ります。よろしくお願いします

学校便りはホームページでも見ることができます。
<http://www.otake-s.ed.jp/>



又は⇒



新春書道展表彰式



久米島町新春書道展で5年中島和莉さんが県議会議員賞、6年佐久田せさんが審査員特別賞を受賞するなど大岳から多くの受賞者をだしたことで学校賞も受賞することができました。。和莉さんは町長らと並びテープカットも行いました。普段の子供たちの努力のお陰だと思います。おめでとう！